

Newスーパーマッフル・デジタル 新機能及び機能強化編

2023年7月発売以降のバージョンに対応

CONTENTS	
1 : 「カスタム情報」欄に自動スクロール機能を強化 選択アイコン操作ガイドのON、OFF	2
2 : 取込データの編集・検索機能の強化	3
3 : カスタム情報の縮尺表示範囲設定	6
4 : 車両情報（規制情報）の設定	7
5 : 複数のフォルダー管理と複数行政区画選択	9

【参考】

「国土数値情報ダウンロードサイト」から (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/index.html>)
[地価公示] の「L01-23_13_GML」データを使用し、マニュアルに記載いたしております。

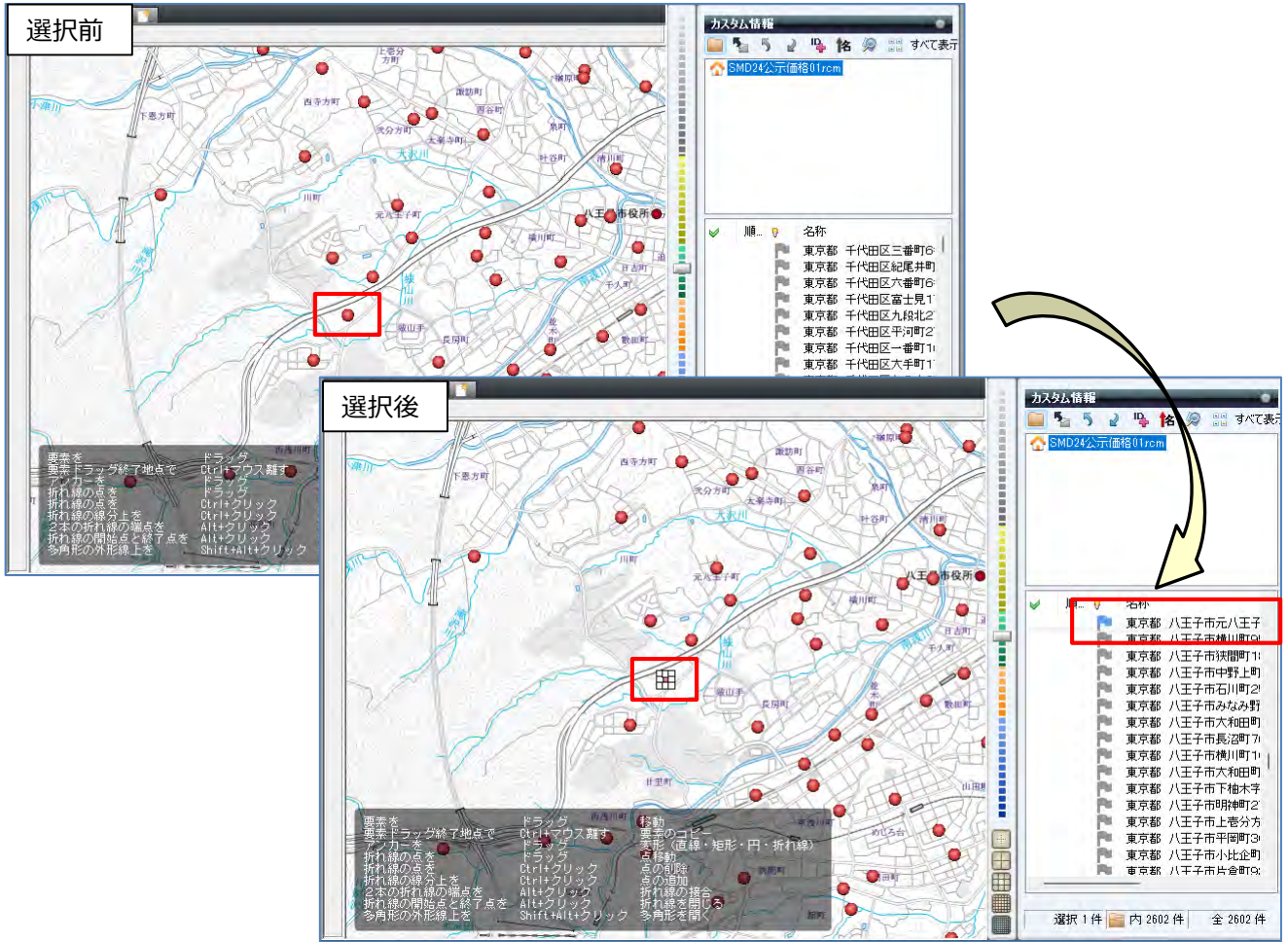
****ご了承ください****
画面イメージは開発中のものも含まます

■ さらに詳しく調べるには ■

クイックアクセスバーにある  設定  サポート  マニュアル  ガイドマップ を参照して下さい。
本書で紹介しきれない詳しい使い方・操作方法などが掲載されています。

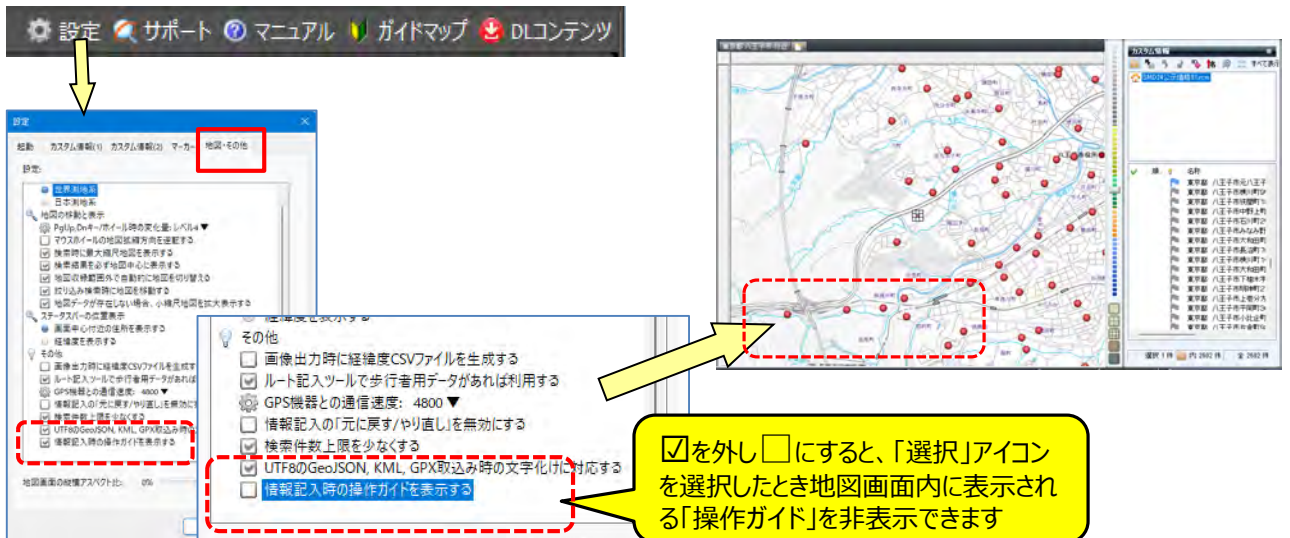
■ 1 : 「カスタム情報」欄に自動スクロール機能を強化

1-1 「地図上」でカスタム情報を **選択** アイコンで選択すると、右側の作業バーのカスタム情報のリストがスクロールし、選択したカスタム情報がリストの上部に表示されます。



1-2 「地図上」の「操作ガイド」は、「設定」で表示させないことが可能です。

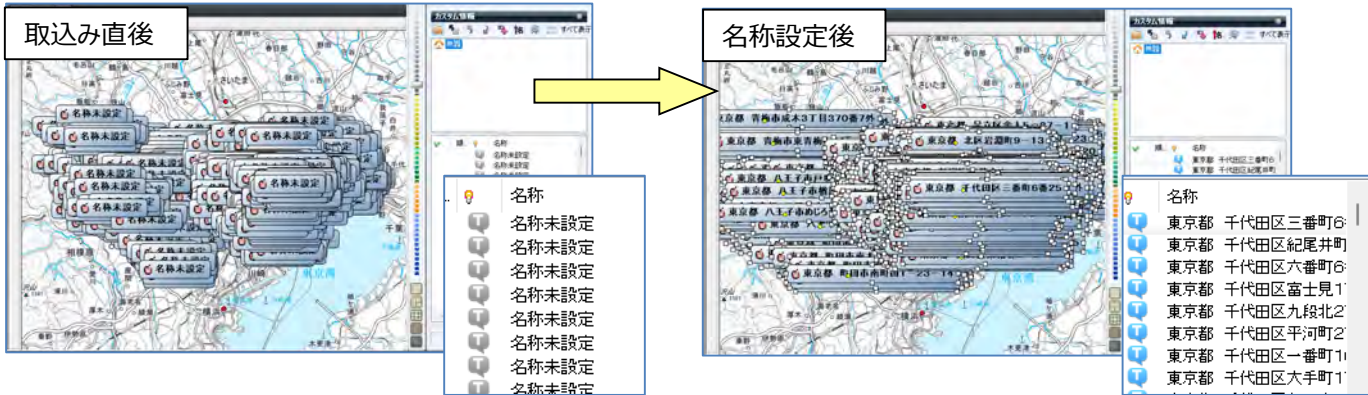
画面右上に表示されている **設定** をクリックし、設定画面の「地図その他」タブ内に「操作ガイド」の項目があります。



■ 2 : 取込データの編集・検索機能の強化

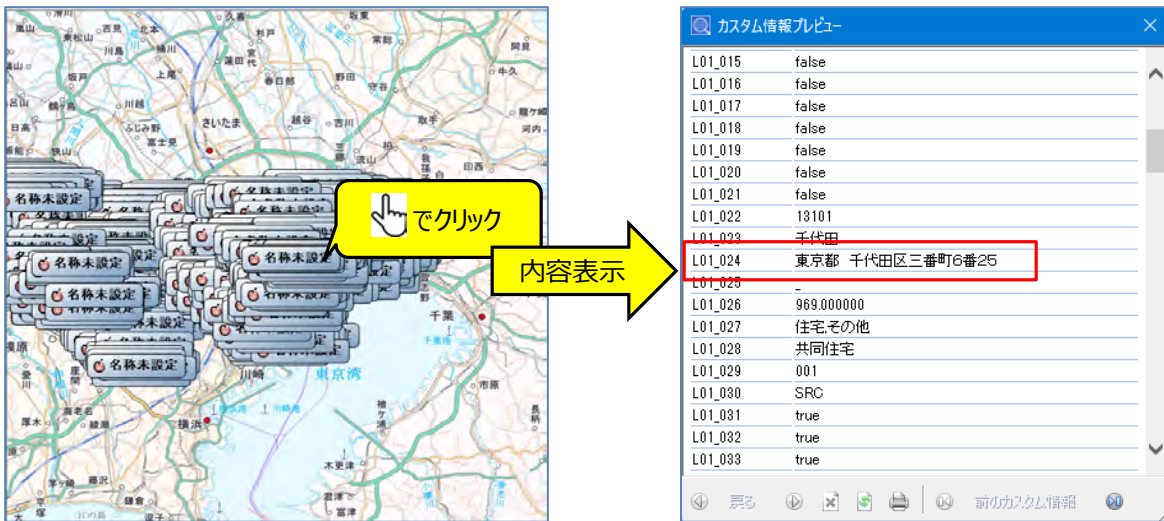
2-1 「オープンデータ」サイトなどから、取り込んだデータの編集や検索でデータの整理をします。

※公開されている「オープンデータ」などの「KML/GeoJSON」形式の場合、「一般の地図」でラベルなどに表示する項目が設定されていないことが多く、スーパーマップル・デジタルに取込むと「名称未設定」となります。



2-2 アイコンで任意のデータをクリックすると、カスタム情報プレビューが開き「内容」が表示されます。「名称」にする「項目」を確認して、カスタム情報プレビューを閉じます。

例：L01_024項目に記載されている「住所」を「名称」に設定します。

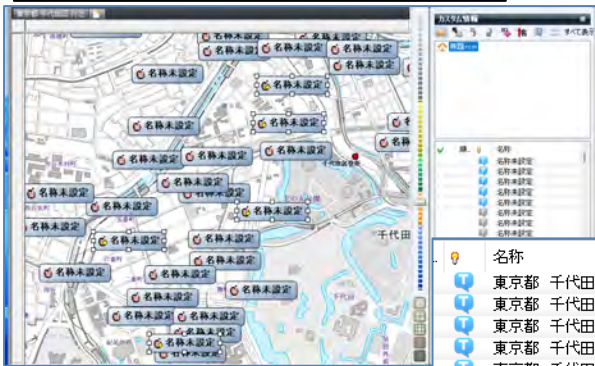


2-3 アイコンで「名称未設定」になっているデータをクリックし、「カスタム情報」欄の上の「格」をクリックし、名称に設定したい項目を選択し、「適応」をクリックするとその項目の内容が「名称」欄に表示されます。

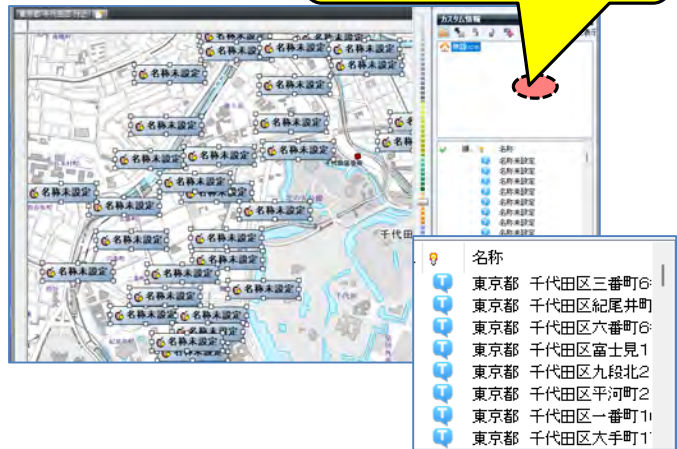


※ 複数のデータ、すべてのデータを一括で「名称設定」する場合

[Ctrl+該当データ]で複数選択



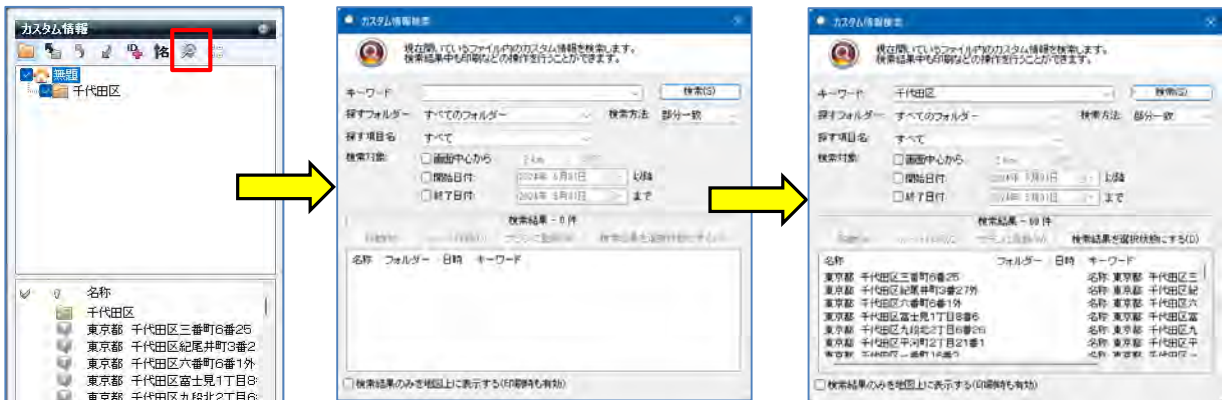
[Ctrl+A]ですべて選択



「選択」を解除するには、この空間をクリックすると、解除されます。

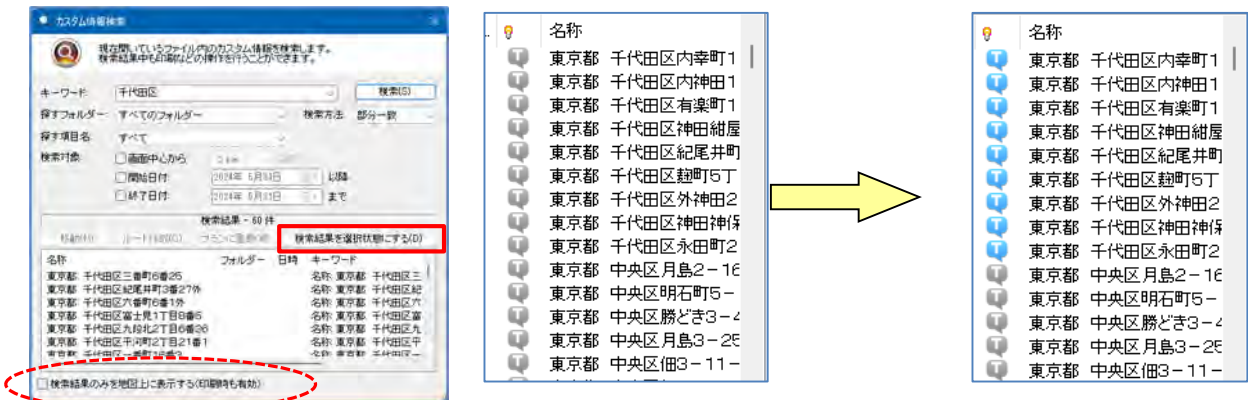
2-4 「取込んだデータ」を目的に応じたデータを検索する。また、検索したデータをフォルダー分けをする。

アイコンをクリックし、「カスタム情報検索」を開き、[キーワード]に「名称」を入力し、[検索]をクリックします。
 ※例：設定は「すべてのフォルダー、部分一致、キーワード」で行います。



2-5 入力された「例：千代田区」で検索されます。

「検索結果を選択状態にする」をクリックすると、該当データが選択されます。

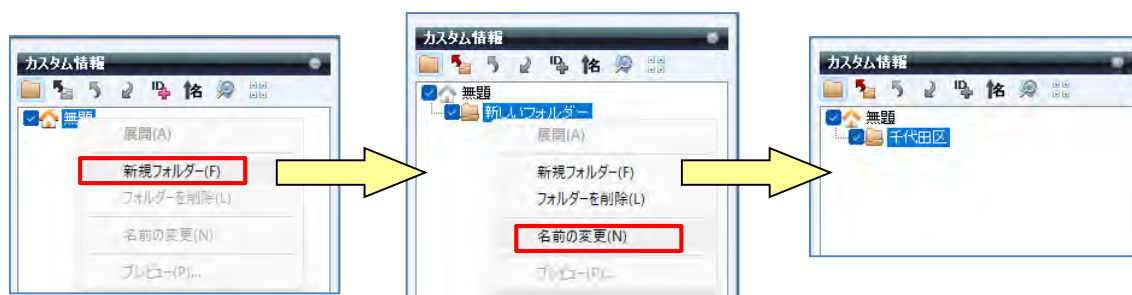


※「カスタム情報検索」画面下の「検索結果のみを地図上に表示する」にを入れると、該当のデータのみを地図表示します。

2-6 「カスタム情報検索」を活用して、データのフォルダー分けをします。

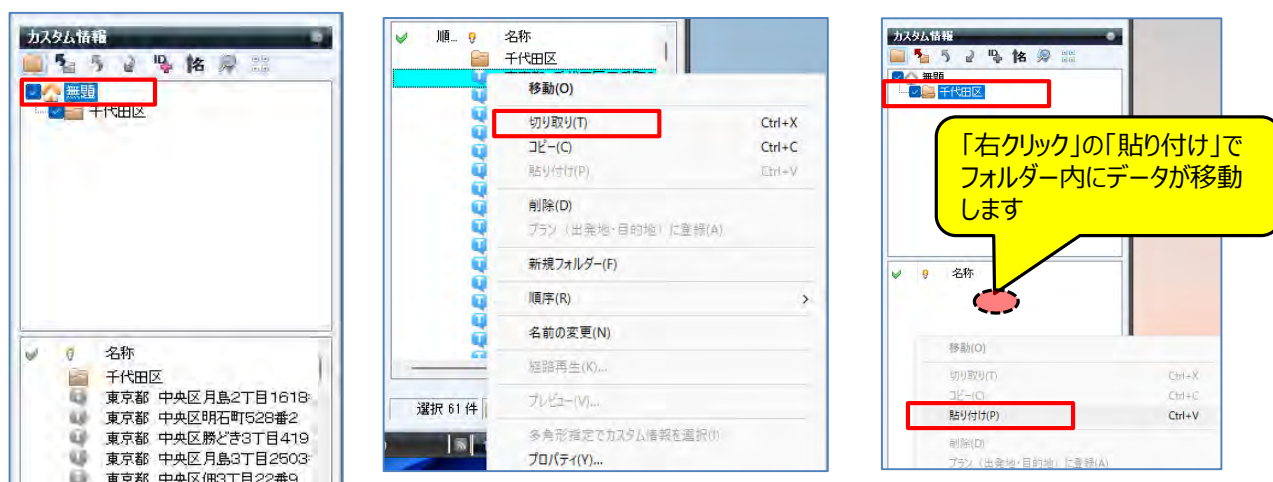
カスタム情報欄で右クリックし、新規フォルダーをクリック。

「新規フォルダー」を右クリックして、フォルダー名（例：千代田区）を入力します。

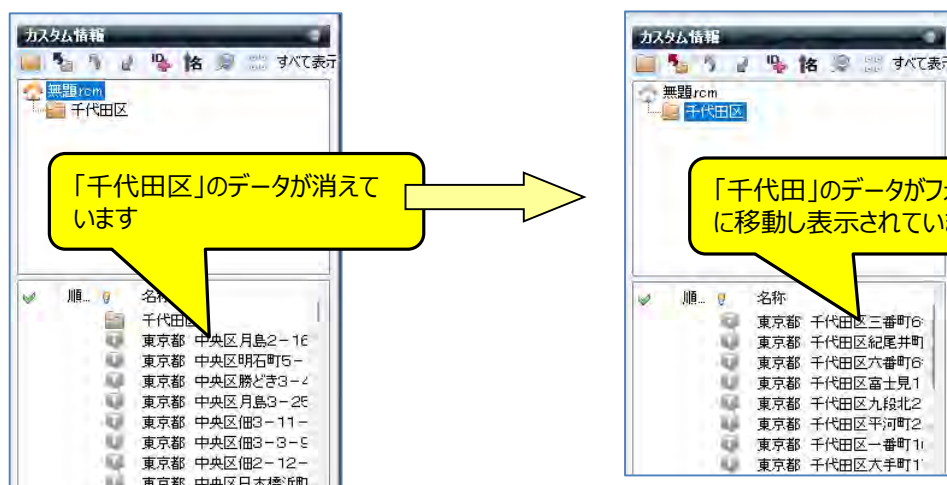
2-7 フォルダー名入力後  無題.rcm ホームをクリックし情報を表示します。

[2-4] で行った検索で「検索結果を選択状態」にし、該当データ上で右クリックして、「切り取り」を選択します。

「千代田区」フォルダーをクリックして貼り付けます

2-8 貼り付け後、確認するため  無題.rcm ホームをクリックし情報を表示します。

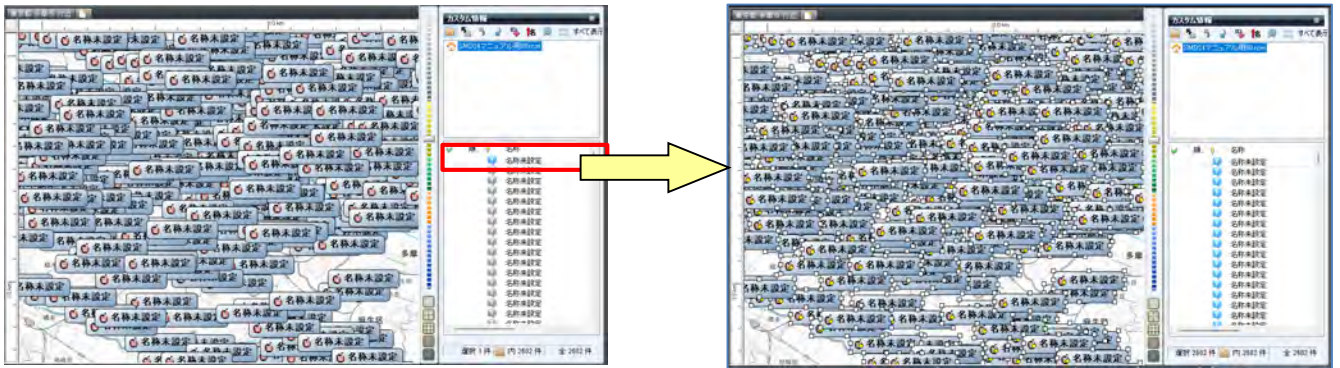
次に「千代田区」フォルダーをクリックします。



【ポイント】続けてフォルダーを作成する場合は、その上位のフォルダーをクリックして作成します。
千代田区に続けて中央区以降を作成の場合は、「2-6」を参考に作成してください。
※手順：「無題」の「新規フォルダー」⇒「名前の変更」⇒「中央区」となります。

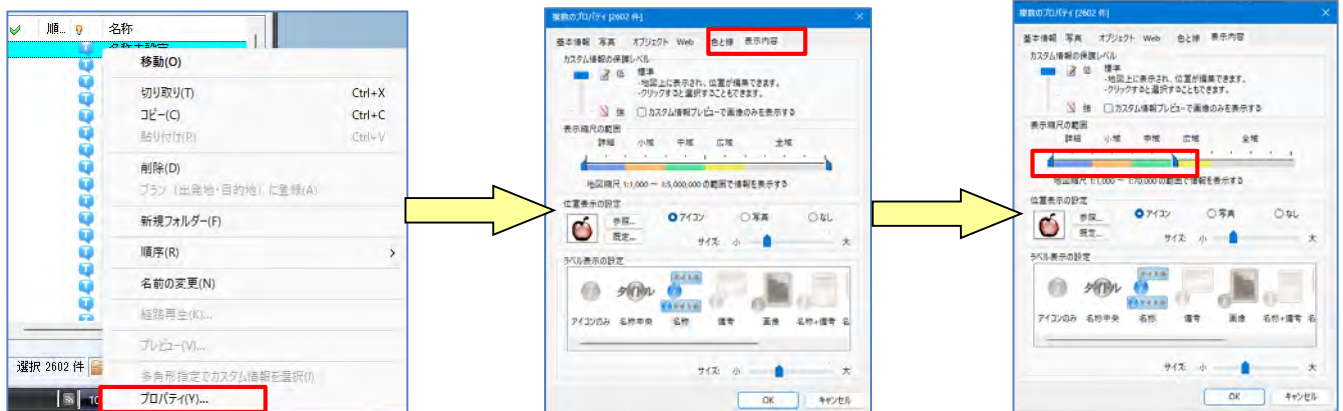
■3： カスタム情報の縮尺表示範囲設定

3-1 表示したデータで地図が見えなくなり、作業や判断を行いやすくするため、データの表示縮尺範囲を設定します。
「名称」をクリックして、**Ctrl+A**で全てのカスタム情報を選択してください。



3-2 選択された「名称」の上で右クリックをし、[プロパティ]を開きます。

次に、プロパティの[表示内容]タブをクリックし、表示したい範囲の縮尺を**スライド**して設定します。



※各種のタブから[表示内容][色と線]などを選択し、表示方法を試してください。

実際に表示方法を変更して試していただくと、感覚がつかみやすくなるので、お試しください。

3-3 設定後、表示中の地図の縮尺レベルがカスタム情報の表示縮尺範囲でない場合には、

カスタム情報が表示されません。地図の縮尺レベルを表示縮尺範囲内になると表示されます。

設定後表示が消える

縮尺範囲で表示



※選択状態を解除するには「カスタム情報」欄の空間をクリックしてください。

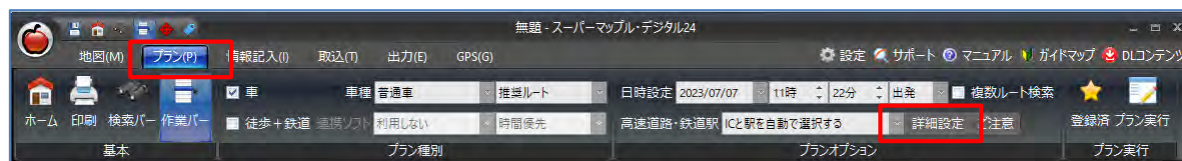
【 参考】カスタム情報を詳細に編集する場合は、画面右上の ガイドマップ から【ビジネス活用】の「簡易マニュアル」のP9を参照してください。

■ 4 : 車両情報（規制情報）の設定

「車高」「車幅」「車重」の通行規制に対応。

4-1 通行車両に伴う、通行規制に対応した「プラン」作成の設定を行います

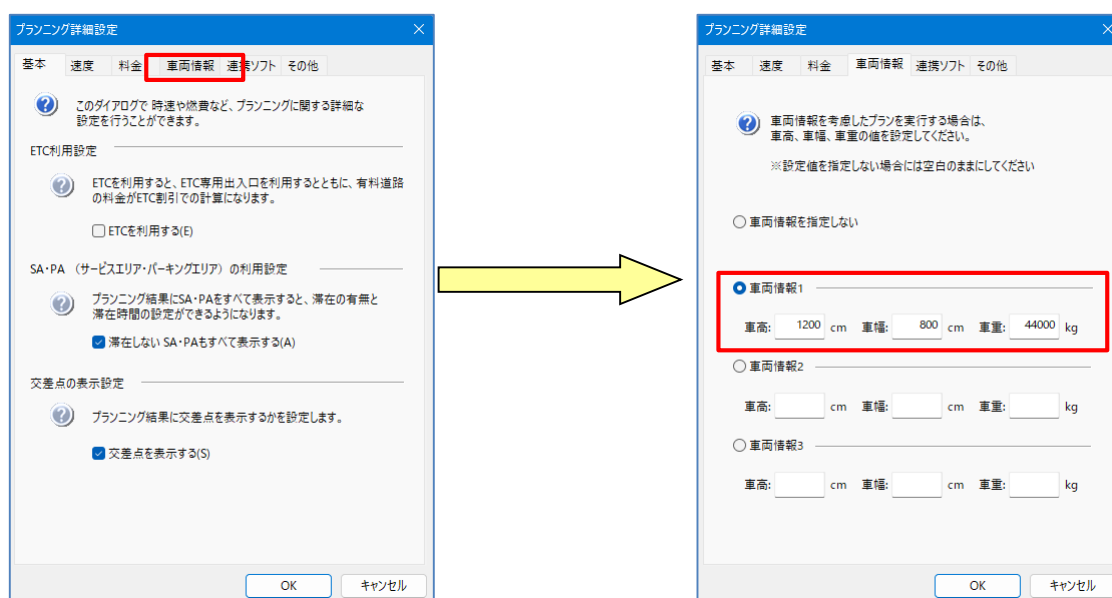
「プラン」タブをクリックし、右側にある「詳細設定」をクリックします。



4-2 「プランニング詳細設定」画面が開きますので、「車両情報」タブをクリックします。

「車両情報 1」に「車高、車幅、重量」を入力して、「OK」をクリックしてください。

車両情報は3件まで登録できます。



【設定可能範囲】

- ・車高：最低 1cm ～ 最大 1200cm (= 12m)
- ・車幅：最低 1cm ～ 最大 800cm (= 8m)
- ・車重：最低 1kg ～ 最大 44000kg (= 44t)

【選択された規制条件】

車種で「車（軽自動～特大車）」が選ばれていた場合のみ適用され、自転車・原付・二輪では適用されません。


※ 特大車の定義

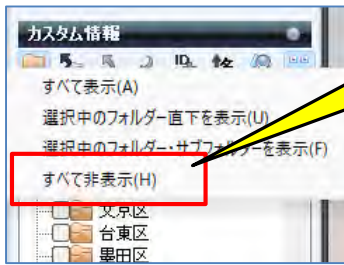
車高：上限 3.8m (4.1m)

車幅：上限 2.5m

車重：上限 20.0t (高速自動車国道および重さ指定道路は 25.0t)

■ 5 : 複数のフォルダー管理と複数行政区画選択

5-1 データを複数のフォルダーで管理されている場合は「カスタム情報欄」の  を活用すると、該当フォルダーを選択し地図に表示ができます。



「すべて非表示」で、地図上からデータが消えます。

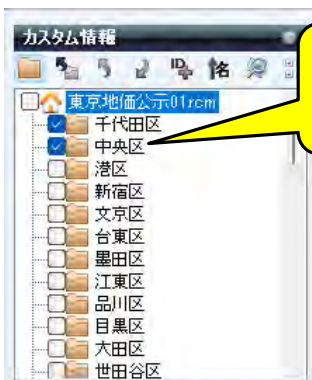


「千代田区」に区すると千代田区のみが表示されます。



「千代田区」を表示しています。

【ご注意】
 スーパーマップル・デジタル25以前のバージョンは、複数選択に対応していません。




「千代田区」に「中央区」をプラス区すると中央区も千代田区と共に表示されます。



「中央区」も表示しています。

【参考】

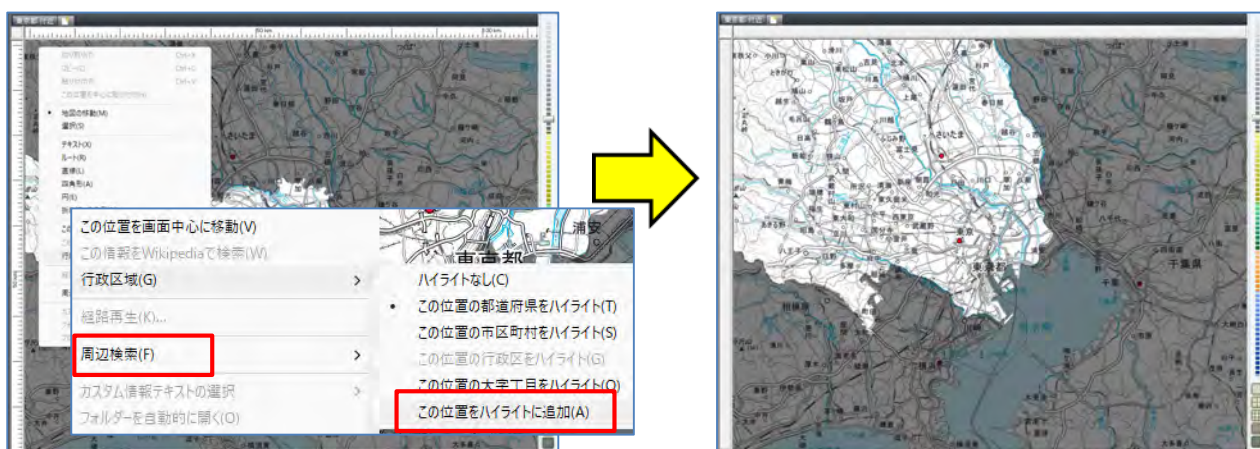
「カスタム情報」欄のフォルダー名の前の はフォルダ内のカスタム情報を地図に表示する/しないを示します。フォルダー名称の背景が  などと反転しているフォルダーにあるカスタム情報が、下部のリストに表示されます。

5-2 [地図]の[行政区域] をクリックか、地図上で [右クリック] し「メニュー」から [行政区域] の該当項目を、選択してください。

例：50万分の1



5-3 続けて [行政区域] を複数選択する場合は、[行政区域] の [この位置をハイライトに追加] をクリックしてください。



以上